

## 第95回道展第65回釧路移動展報告

11月23日（火）から28日（日）までの5日間、釧路市立美術館を会場に第65回釧路移動展を開催しました。昨年度はコロナ禍で中止したため2年ぶりの開催でした。期間中、天候にも恵まれ今回は約1,000人の来場者がありました。

今回、釧路及び根室管内の一般出品では、油彩部門で鈴木秋弘さん、長内紀子さんが佳作賞、水彩では杉本繁久さんが新人賞を受賞。会友の鈴木信子さん（油彩）、渡邊久美子さん（工芸）が会友賞を受賞し、中居瀨晟さん（日本画）が会友に推挙されました。また、白石さゆりさん（油彩）、鄭 媿文さん（同）が初出品で初入選を果たしました。ここ数年、受賞者、会友への推挙が続いており、釧路から出品する作家の頑張りが評価されています。

11月27日（土）は、一般出品者を対象とした講評会を油彩部門の澤田範明、福原幸喜会員を講師にお迎えし実施しました。作品づくりについて時間をかけてアドバイスを受け、次回作に向けて意欲を高めることができました。また、28日（日）は、一般来場者を対象とした各部門の巡回作品を解説しました。およそ1時間に渡り、講師のお二人による解説に多くの市民が耳を傾け、道展の裏話などを交えての作品鑑賞を楽しんでおられました。



講評会の様子（福原会員）



初入選油彩の白石さんと澤田会員



佳作受賞の鈴木秋弘さん（左）、会友賞受賞の渡邊さん（右）



搬出前に実行委員で撮影